



本番をながらに行われた訓練

## 住民・消防が一丸となって訓練

(4月4日)

市立総合病院周辺で総合防災訓練が行われ、消防・警察関係者や住民など約300人が参加しました。

訓練は、震度6弱の直下型地震が発生し、建物の倒壊や大規模な火災が発生したとの想定で開始。

放水訓練や倒壊した建物からの救出訓練など、本番ながらに緊迫した訓練が繰り広げられ、参加者は災害への備えを再確認していました。



軒先に向けて勢い良く掛けられる御水

## 春を告げるジャジャシコ祭り

(4月3日)

扇田地区で、伝統のジャジャシコ祭りが行われました。

このお祭りは、今から約160年前、扇田地区が何度も火災に見舞われ、無火災を祈願したのが始まりとされ、当時の火消し役が夜警などに使った錫杖(しゃくじょう)を地面に打ち付ける音が、名前の由来とも言われています。今年もほら貝と錫杖の音を響かせながら、家々の軒先に水を掛けて扇田全町内を練り歩き、火の用心を呼び掛けていました。



左から福島社民党党首、事件の生存者の李鉄垂さん、川田平和記念会理事長、佐竹知事、小畑市長、薛判参事官によるテープカット

## 花岡平和記念館が開館(4月17日)

全国からの寄付を元に建設された「花岡平和記念館」の開館記念式典が行われました。

この記念館には、太平洋戦争末期に中国人約千人が強制労働させられた花岡事件を後世に伝えるため、強制連行の経緯や拷問の様子を描いた墨絵などが展示されています。

式典には関係者が多数参加し、完成を祝いました。\*入館は無料で、毎週金曜日から月曜日まで、10時から15時まで公開しています。



ハチの冥福を祈り献花

## 大館生まれの忠犬ハチ公を慰霊

(4月8日)

76回忌となる忠犬ハチ公の慰霊祭が、JR大館駅前のハチ公広場で行われました。

慰霊の灯を点火したあと、秋田犬群像には有浦小1年の菅原流亜さんが、ハチ公銅像には有浦保育園年中の菅原亜嵐くんがそれぞれ花をささげました。

銅像の周りにキャンドルがともる中、釈迦内小5年の越前屋育貴くんがハチ公へのメッセージを読み上げ、出席者たちはハチの霊を慰めました。



こんなに拾ったよ!

## チカラを合わせてクリーンアップ

(4月18日)

暖かな日差しの中、春のクリーンアップが長木川河川敷で行われました。

会場には、早朝から小・中学生、企業や団体など約800人が集まり、火ばさみなどを使って、川や道端に投げ捨てられたごみや空き缶などを分別しながらごみ袋に詰め込んでいきました。

集められたごみは、なんとトラック5台分で約1480kg。すっかりきれいになった河川敷は、今年も多くの市民でにぎわっています。



元気に泳いでるよ!

## 大きくなって帰っておいで

(4月11日)

抜けるような青空の下、サケの稚魚放流式が長木川白鳥広場で行われ、体長5cmほどに育てられたサケの稚魚10万3千匹を放流しました。

参加した小学生や市民150人は、稚魚をバケツに入れてもらい「大きくなって帰ってこいよ」などと声を掛けながらそと川に放流し、新しい世界に旅立つサケを見送っていました。